

Swingin' Wonderland JAZZ Orchestra

Profile 2025



’06.1.2 NY ジャズ@リンカーンセンター公演 (写真提供:文藝春秋)

SWJO は 1991 年、香川県教育委員会文化行政課主導の下、県内ミュージシャンを中心に結成されたスィングを追求する本格的ジャズオーケストラ。’95 年ハーレム「WELL’S」、’96 年 NY「SWEET BASIL」’01 年 NY「BLUE NOTE」アマ公演、’02 年コンゴ編成でのフランス・ツアーなど海外経験を経て、国内外で非常に高い評価を得る。’96 年には『高松市文化奨励賞』を受賞。

SWJO の魅力は何と言ってもメンバーの心が一つになったダイナミックなスウィングと、知的で爽快かつユーモアある演出であり、その温かなサウンドに魅了された多くのファンより支持を受け ’04 年に NPO 法人 SWJO エンタープライズを設立、組織力の強化と活動基盤の拡大を図った。

’06 年 3 度目の NY ライブツアーでは『SJF (サンポートジャズフェスティバル) in NY』公演を実施し世界的ジャズピアニスト穂吉敏子と共演。ジャズ@リンカーンセンターでのアマチュア世界初公演は海外マス・メディアから脚光を浴び、その模様は全米の TV・新聞を通じて全世界に配信された。また、この公演のハイライトが『文藝春秋』(’06 年 3 月号)のグラビアで特集され、あらためて“日本を代表するジャズオーケストラ”として内外に広く認知される機会となった。

’07 年、SJF 実行委員長に穂吉とも親交の深い世界的彫刻家 流政之が就任。

’08 年、長年の活動と香川から海外への存在価値を発信した事が認められ、県内の優れた文化活動を支援する第 1 回『香川県文化芸術選奨』を受賞。

’11 年夏、SJF テーマ曲「瀬戸の夕陽(Sunset of SETO)」を穂吉が作曲、同イメージを流がサンポート高松に巨大な石碑で表現。美しい瀬戸の夕陽を世界へ発信し、百年、千年後の孫子たちへ感動と笑顔を贈る「瀬戸の夕陽 夢プロジェクト(代表 竹崎克彦)」を実現した。

’13 年、『JATP2013GREAT JAZZ SUMMIT』において、ランディー・ブレッカー、チャールズ・マクファソンらジャズ伝説の巨人たちと共演。同年、グラミー賞 17 回受賞の『カウント・ベイシー・オーケストラ』を初めて香川に招聘、故郷のジャズ史上に残る歴史的共演を実現した。

’15 年秋、『GOLDEN SOUND』において、ベイシーオーケストラ元リーダーでドラマーのデニス・マクレルと共演。デニスから SWJO への惜しめない賛辞で、会場は温かい拍手が鳴りやまなかった。

そのデニスプロデュースによる『SWJO 結成 25 周年記念』公演を、2018 年 1 月 1 日の夜、NY を代表するジャズクラブ『NY Birdland』にて開催。満席のニュー Yorker を前に奇跡的大成功をおさめた。2024 年 6 月 15 日、コロナ渦で延期された『SWJO 結成 30 周年記念』公演は、デニス・マクレルと共に凄まじくスィングした演奏で、大ホール満席のお客様と「感動と笑顔」を共有し興奮の坩堝と化した。現在、将来の「ベネツィア公演」大成功に向けて、メンバー全員が心を一つにして熱烈邁進中！